

1 本園の教育目標

子どもを中心として教育の中でひとりひとりの個性を尊重し、自立ある子どもをねらい、自分ひとりでできるよう援助します。
モンテッソーリ教育を通して自分で学力を身につけます。

2 教育内容について重点的に取り組む目標

1 平和な心を育てよう

- ・子どもの心が安定し、互いの思いが違っても友達を許せる心や、周りの人に対して優しく、思いやりのある心を育む。
- ・神様を身近に感じ、感謝する心や自分の弱さを認め、自己訂正出来る心を養う。

2 心と体を使って生きる力を育てよう

- ・何事に対してもチャレンジ精神を持ち意欲的に活動したり、自ら選択して判断したりする力を養う。
- ・困っていることや伝えたいことを言葉で表現する力や、友達に対して自らコミュニケーションをとれる力を養う。
- ・身の周りの事を自分で行うことや、周りの状況を判断して行動する力を養う。

- A組
- ・個々の課題に向き合い、チャレンジ精神を育てる。
 - ・観る力、聴く力を身に付けることによって思考力を育てる。

- B組
- ・活動に取り組む中で一人一人の課題に向き合い、諦めない心を育てる。
 - ・友だちとの関わりを通して、コミュニケーション能力を養う。

- C組
- ・繰り返し活動を通して、基本的な生活習慣を身に付ける。
見る力、聞く力を育てる。

- D組
- ・園生活に慣れる。

3 総合的に取り組む目標

- ・安全管理体制の強化・・・火災・地震・津波・不審者等の対応の強化
- ・教職員の資質向上・・・報告、連絡、相談など園児に関する情報の共有
モンテッソーリ教育の質の向上
- ・コロナ禍での行事運営の配慮・・・園児、保護者への混乱を防ぎ安全対策の強化
- ・幼小連絡・・・・・・・・・・コロナ以前に戻るの難しいが、小学校へのスムーズな進級が出来るよう連携を行えるよう努力する。

4 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	取り組み状況
教育内容の向上	B	保育内容の向上の為、教師一人一人が客観的な観察の視点で子どもを見るよう心掛けた。また園内研修やオンラインの勉強会に参加し、スキルの向上に努めた。
安全管理体制への強化	A	特に地震発生時の津波避難訓練、火災避難訓練を繰り返し行い、迅速な避難誘導ができるよう努力した。不審者対策として玄関などの施錠の徹底をしている。
幼小接続	B	感染症対策をした上で、小学校の見学や行事への参加を通して子どもたちが、小学校生活を楽しみにすることができた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果が無かった）

5 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、一定の成果は出たと思うが、課題も明確になりより一層の努力が必要と考えられる。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果が無かった）

6 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育内容の向上	保育内容の向上の為、教師一人一人が客観的な観察の視点で子どもを観る努力を行うと同時に、本園の特徴とする専門的な内容についてより学びの必要があるため、自身のスキルの向上のため、園内研修を重ね、積極的な学びの場を作る。また、研修に積極的に参加する。
安全管理体制への強化	特に地震における訓練、不審者への対応など、今以上の訓練や強化が必要。不審者対応は、想定される状況を確認し、一層強化できるよう努めたい。
幼小接続	状況に合わせた感染症対策を行った上で、小学校の見学や行事へ、より一層の参加を通して小学校への親しみが持てるようにしていきたい。